

# オリジナルマスク製作

## ロゴ入りニット製

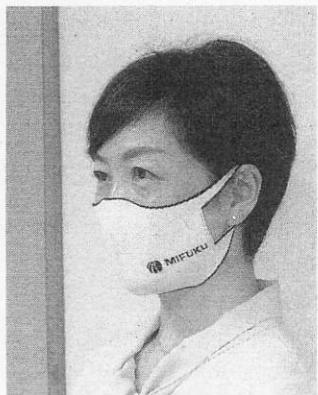
### 三福運輸

【新潟】三福運輸（五月女奈緒美社長、新潟県新発田市）は新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、オリジナルのマスクを製作した。社名とロゴをワンプイントに取り入れたもので、対外的なPRのほか、従業員の会社に対する帰属意識を高める狙い。6月22日にSNS（交流サイト）で取り組みを発信した。

同じ下越地域で国内屈指のニット産地、五泉市のメーカーに着目。大勝運輸（五泉市）の大河原勝社長から「洗えるオーダーニットマスク」を生産する川島（川

島幹生社長、同）を紹介してもらい、子供用のSサイズ10枚、大人用Mサイズ90枚の計100枚を頼んだ。

会社イメージカラーの青を基調にしたものとオーソドックスな白、2パターンで注文。社名のローマ字とロゴ、サイド部分、裏面は、それぞれ水色、青を使い、アクセントとして引き立つようにした。



「ファンデーションが付かないのもありがたい」と五月女社長

に長け、顔へ優しくフィットする。その一方で、立体的な仕上げにより息苦しさから解放され、通気性もあり、快適な装着感を保つ。

五月女社長は「長時間、着けていても耳が痛くなることは無い。また、女性目線ではファンデーションが付かないのもありがたい。写真共有アプリ『インスタグラム』などに載せたところ、好意的な反応が寄せられた」と手応えを実感している。

（河野元）